

## 第1回やまと精神医療センター薬薬連携研修会を開催して

薬剤科長 續木康夫

平成30年9月20日(木)病院と院外薬剤師の連携(薬薬連携)の推進を図り、患者様への薬物療法により貢献することを目的として、第1回やまと精神医療センター薬薬連携研修会を片桐地区公民館 研修室にて開催しました。参加者は院外薬剤師19名、薬学実習生5名、当院より薬剤師3名、看護師2名、精神社会福祉士1名でした。

内容：18：30～18：45 大塚製薬より「レキサルティ®錠」についての説明

18：45～19：30 續木薬剤科長より「精神科医療と向精神薬」の講義

病院紹介

精神科医療と向精神薬

- ① 統合失調症
- ② うつ病
- ③ 双極性障害



講義の風景

19：30～20：15 院外処方箋の連携について意見交換

- ① 重複投薬・相互作用等防止加算について
- ② 疑義照会の一例について
- ③ 一般名処方加算について
- ④ 訪問看護ステーションより



意見交換の風景



訪問看護ステーション管理者井内看護師長より、薬の開始日、管理方法で貴重な情報を院外薬局より得たことへの感謝、顔の見える関係の大切さ、在宅者薬剤指導が必要な患者様がいることの話があった。

意見交換の結果、下記の2点の方向性を決定しました。

1. 残薬調整の実施、疑義照会不要項目について病院と大和郡山薬剤師会で合意文書を交わす方向で進める。
2. 訪問看護ステーションからの推薦により、院外薬剤師が在宅患者訪問薬剤管理指導を実施できる体制を構築する方向で進める。

盛会の内に終わることができました。院内の調整を含め、一つ一つ誠実に対応するように努めていきます。この会を継続させ信頼関係を作りながら地域に貢献できればと考えます。